

三好市立三縄小学校

1 学校の概要

① 児童数・学級数

学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	支援	計
児童数	10	7	10	6	6	6	2	47
学級数	1	1	1	1	1	1	1	7



② 校訓 「強く、正しく」

めざす子ども像

- よく考え最後までやりぬく子ども
- 明るく思いやりのある子ども
- 健康でたくましい子ども

③ 環境目標・テーマ

守ろう！三縄 守ろう！ふるさと
～地球にやさしい学校づくりをめざして～

2 行動方針

- ① 節電・節水，ごみの分別・減量，リサイクルに取り組みます。
- ② 家庭と共にごみの分別・リサイクルに取り組みます。
- ③ 体験学習を通して，湿原や河川の環境保全に取り組みます。

3 行動

① ゴミ0運動



② 黒沢湿原にサギ草を移植



③ 節水・節電の呼びかけ



④ 節水・節電を呼びかける表示ラベルの作成・掲示



⑤ 21年度に設置されたリサイクルボックス



⇒ 地域の方も集めたキャップを持ってきてくださいます



⑥ 各階に紙リサイクルボックスを設置



⑦ 清掃センターの見学



⑧ 電気・水道の使用量をグラフにして掲示



4 具体的効果

◆ 年々電気や水の使用量が減少している。グラフに表すことで、視覚的にとらえることができ、減量につながっていると思われる。また、「捨てればごみ・分ければ資源」の意識が高まり、分別することができるようになってきている。誰もいない教室の蛍光灯を消したり、きちんと止めていない水道の蛇口を止める行動ができる子どもが多くなってきている。

◆ 職員室では、使用頻度の低い箇所の電灯は消灯している。ほんの些細なことでも、職員一人ひとりが環境に関して意識し行動することで、子ども達の心構えも変わってきている。

◆ 校舎の各階に設置した紙のリサイクル箱を利用し、プリントなどの紙のリサイクルが徹底され、可燃ごみが減少した。

◆ ペットボトルのキャップや缶のプルタブ回収も、家庭や地域に浸透し、家庭からだけでなく、学校を訪ねてくださった地域の方々からも集まる数が増えた。

◆ 黒沢湿原にサギ草を植え付けて、素晴らしい自然を体感した。その経験が地域の自然を守る環境ISOの意識高揚に結びついた。



◆ 環境ISO点検を週1回行い、朝会で全校児童の前で発表することにより、子どもたちの環境に対する意識と改善しようとする意欲を持続させることができている。



5 改善点

◆ 誰もいない教室の電気がついていることはなくなっているが、廊下やトイレの電気がついたままになっていることがあり、今後も計画的・継続的な指導が必要である。暖房器具使用のこの時期に今まで以上に節電の意識を高めていく必要がある。

◆ 第4学年では、ごみや水について学習をしているので、環境についての学習がスムーズであった。環境教育年間計画の系統性を見直し、総合的な学習の時間との関連も考慮し、各学年で効率的に実施できるものに変更する必要がある。

◆ 可燃ごみの量についても、袋の数や重さを掲示するなどして視覚に訴える必要があると思われる。